

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No.	10	事例No.	08	依頼者	稲沢市立三宅小学校	実施場所	稲沢市立三宅小学校理科室
実施対象	三宅小学校 4 年生全員（1 クラス、27 名）						
実施日時	平成 30 年 6 月 1 日（金）10 時 35 分～12 時 15 分（1 時間 40 分（10 分休憩））						
テーマ	川を汚す原因といきものについて						

●依頼内容

郷土の三宅川を大切にするための環境づくりを考える学習（通称「三宅川クリーン大作戦」）の一環として、水質調査等の体験ができることと水生生物の話のできる講師の紹介をしてほしい。

●講師：蟹江勉氏（フジクリーン工業株式会社）

浄化槽の勉強会で講師経験がある。（春日井市内の小学生対象で担当経験あり）

●授業の内容

座学	水の大切さ	パワーポイントによる水の循環と水の大切さに関する説明を行い、身近な河川への負荷削減のため、浄化槽をはじめ、下水道や農村集落排水等の果たす役割の重要性に関して説明しました。	40 分
	身近な水辺環境の保全	浄化槽協会の DVD（見つめて私たちの水辺）を使い、女性と水の精による会話のやり取りで、身近な水辺の環境を守るために浄化槽などの役割を紹介し、水辺環境の保全に対して理解を深めました。	20 分
	浄化槽の機能	講師の会社が作成した浄化槽のモデルに、水道水を入れて、浄化槽による水質浄化のステップを学びました。特に微生物による浄化システムの紹介では、子どもたちの興味を深めました。	20 分

●授業の様子

講師は川の汚れをきれいにするために、下水道や浄化槽の役割を紹介するとともに、川のきれいさ（水質環境）に応じて、生息する魚等の生物の種類が違ふことを紹介しました。説明にあたっては、児童たちと会話をしたり、児童たちに考えてもらったりする等、双方向でのやりとりを取り入れることで、授業は盛り上がりながら進みました。子どもたちの積極的な質問にたじろぐ場面もありました。こうした下水道や浄化槽等を中心とした負荷削減の取り組みが河川のきれいさを作ることに大きな役割を果たしていることの理解を深めました。また、浄化槽モデルによる水をきれいにするしくみに微生物の役割が大きいことも子どもたちの興味を大きく引き寄せる結果となり、質問や感想で微生物の役割について話題にする子どもが多かったです。

パワーポイントによる下水道や浄化槽等の説明



浄化槽モデルに対する質問風景

